

## 株式会社ディスコ 桑畑工場温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ディスコ 桑畑工場

(2) 事業所の所在地

広島県 呉市郷原町4010-1

(3) 業種

半導体製造装置製造業

### 2 計画の期間

2010年度を基準年度とし、2011年度から2020年度までの10年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成22年度	平成32年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	13,091	9,163.7 -30%	13,670 -4%				
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	-	-	-				
メタン	-	-	-				
一酸化二窒素	-	-	-				
フロン類	-	-	-				
温室効果ガス 実排出量総計	13,091	9,163.7 -30%	13,670 -4%				
温室効果ガス みなし排出量		-	-				
実績に対する 自己評価	弊社長谷工場が、H23年1月に本工場へ移設統合された。このため、H23年度は、第4四半期でエネルギー使用量が増大し、削減努力分を相殺する結果となった。長谷工場の発生量は、基準年：3,242tCO <sub>2</sub> H23年2,023tCO <sub>2</sub> (1,219tCO <sub>2</sub> 分が本工場から発生したことになる。)である。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	太陽光発電	485 tCO2	太陽光発電設備を導入する 11年発電実績: 665,689.60kWh
2	啓発活動	375 tCO2	啓発とパトロールと省エネ活動 照明間引き: 250,806kWh エアコン管理温度変更: 264,433kWh
3	コンプレッサを台数制御	574 tCO2	コンプレッサー同士をネットワークで接続し、高効率運転する: 788,766kWh
4	不要機器停止	48 tCO2	ファン: 57,816kWh 温水便座: 8,683kWh

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	-	-
2		
3	-	-

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	全部門へ環境活動の展開	実施率95%	各部署で環境貢献活動を検討し、個人個人で実施する。(省エネによらない)
2	ボランティア(植林活動)	-	県フォーラムの主催される森林整備活動へ参加した。
3	購入部品等 輸送のモーダルシフト化	-	遠方地域からの購入部品の輸送をトラックからJR貨物で輸送する。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。